

プラザからのお知らせ

2022 年度第 1 回交流ゼミナール

「被災地のトイレ問題」への備え

～快便は命を救う～

2022 年 7 月 3 日 (日)

13:30 ~ 15:00



参加費
無料



SAGA 防災トイレアドバイザー

赤星 憲助 さん

佐賀市市民活動プラザ 4 階会議室
(佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル)
オンライン会議「Zoom」併用のハイブリット開催
※Facebook ライブ配信あり



お申込みは
こちらから



佐賀市市民活動プラザ人材育成講座

市民活動に割と身近な IT 活用・デジタル化

2022 年 7 月 9 日 (土)

14:00 ~ 16:30

「新たな活動様式」の最前線

佐賀市市民活動プラザ 4 階会議室

(佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル)

オンライン会議「Zoom」併用のハイブリット開催
※Facebook ライブ配信あり



お申込みは
こちらから

地域コミュニティ CORAL

代表 山本 奈穂子さん

久留米市市民活動センターサポートセンター「みんくる」

副センター長 張 友樹 さん

佐賀市市民活動プラザ人材育成研修

「願いを満たす組織づくり」

2022 年 7 月 31 日 (日) 14:00 ~ 16:30

佐賀市市民活動プラザ 4 階会議室 (佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル)
オンライン会議「Zoom」併用のハイブリット開催



お申込みは
こちらから

合同会社カーニバルライフ 代表 山下 比佐暢 さん

副代表 山本 恵果 さん

佐賀市市民活動プラザ 佐賀市白山二丁目 1-12 佐賀商工ビル 7 階

TEL : 0952-40-2002

FAX : 0952-40-2011

E-mail : plaza@tsunasaga.jp

開館時間: 9 時 ~ 22 時

(休館日: 12/29 ~ 翌年 1/3)



HP



Facebook



Instagram



佐賀市市民活動プラザ広報誌

さがのわ

からひろげよう市民活動の



プラザから佐賀市に!
佐賀市から全国に!
全国から世界に!
想いやりの「輪」をひろげよう!

皆さんは「トイレ」について
どういった印象をお持ちですか?



でも、生きていく中で必ず必要なモノなのです。

これからの災害に備えて少しでも

「知ってほしい」

今回は、そんな想いをもち活動されている

SAGA 防災トイレアドバイザーの赤星さんに話を伺いました。



2022

6・7 月号

TOPIC SAGA 防災トイレアドバイザー

TEL : 090-5476-9296 E-mail : saga.d.p.t@outlook.jp

団体 HP はこちら



設立の経緯やキッカケについて教えてください。



SAGA 防災トイレアドバイザー

あかほし けんすけ
代表：赤星 憲助 さん

私はボランティアとして、東日本大震災や熊本地震の際に現地に行き、活動しました。その時に、断水や停電によって水洗トイレが使えない避難所がほとんどでした。避難所に支給される物資は水や食料等で、支給されれば食べたり飲んだりしますよね。そうすると、もちろんトイレを使用します。断水や停電により水が流れず、どんどんトイレが不衛生になり、余計に使えないという状況になっていきました。そうすると、避難所の方たちは飲食をしなくなり、かえって病気になって、最悪の場合関連死につながるケースもありました。そういった、テレビでは報道されない避難所の実態を目にして、「このままではいけない」と感じました。私の職業が下水道や浄化槽関係の仕事という事もあると、勉強を重ね、日本トイレ研究所の防災トイレアドバイザーという認定を受けまして、2020年に団体を立ち上げました。

団体の具体的な活動内容について教えてください。

基本的な活動は、災害が起きた際の避難所の実態を、行政や企業、あとは自治会などにお話ししています。あとは、下水道と直結した災害用仮設トイレの『マンホールトイレ』の広報です。

マンホールトイレは最近よく耳にしますね。

そうですね。現在鹿島市では、鹿島小学校と北鹿島小学校に設置されていますが、ただ設置するだけではなく、運動会などのイベントで実際に使っています。今の子どもたちって結構デリケートで、場所が変わるとトイレが出来ない子が多いんですよね。大人でも、急にオムツを履いてくださいと言われたら抵抗があるように、日頃使っていない事が原因だと思うんです。そういった抵抗をなくすため、避難所のトイレを身近に感じてもらえるような取り組みを始めました。今は快適で匂いもしない、なおかつ安心して使ってもらえるように工夫しています。



鹿島市の小学校で設置した際のマンホールトイレ

トイレに関してもきちんと学ぶことが大事ですね。

そうですね。トイレへの知識はもちろん、知らないことを知ってもらうことからスタートかなと思っています。佐賀県でも大雨による災害が増えてきたり、地震や台風なんかも増えてきました。防災というと水や食料を買いだめされるんですけど、トイレ準備をされている方は多くないと思います。防災グッズの中でもトイレ関連のものってそんなに数はないですけど、100均で携帯トイレなども売ってありますので、日頃から備えてもらいたいですね。実際に使ってみて、どういう風になるのか実験をしてみたり、家に何日分あれば足りるよねって家族で話したりしてほしいです。

トイレ関係の事って、なかなか皆さん避けられているというか、知識不足ですよね。

そうなんです。今まで皆さん、トイレの事に目を向けることはなかったですね。昔は小学校でも「うんち」っていうと「汚い汚い」とか「不衛生」って避けられていましたが、今はうんちのおもちやがあったり、ドリルがあったり。そう考えると、だんだんうんちが身近にはなってきたのかなって感じます（笑）。今の時代を生きる子ども達には、防災だけではなく、トイレや排泄の知識も必要だよっていう事をきちんと知ってもらいたいですね。

とっても大事な事ですね。では、最後に今後の目標について教えてください。

はい。目標というか、今後はやはり活動を認知してもらわないといけないと感じています。災害では、自助・共助・公助とあるんですが、新型コロナウイルスが発生して、避難所に避難する方の形態が変わってきたように思います。垂直避難や自宅での避難が増え、そうすると各々が自助の力を高めないと誰も助けてくれません。そのためにはしっかりと知識、被災時のトイレに対する知識も知ってもらいたいです。ごみの排出量って、各自がある程度我慢して努力すれば抑制できるんですが、トイレって我慢できないしコントロールできませんよね。そうすると、トイレに行く回数を減らすために、飲み食いを我慢する事になり、これが一番危険で、災害時にはエコノミークラス症候群等命に係わる病気に繋がってしまうんですね。そのためにも、携帯トイレの備えやマンホールトイレの活用も必要になってきますし、防災への知識を身に付けて、備える力をつけてほしいです。私たちが、そこのお手伝いをできる活動をしたいですね。



助成金情報

国際協力

締切：2022年6月30日（木）

佐賀県国際交流協会 2022年度
「多文化共生等事業助成金」

助成活動対象

県民や外国人住民を対象に、多文化共生事業では、地域の多文化共生推進を目的とし、国際交流・協力事業では、国際理解・交流・協力の促進を目的とする事業とする

助成内容

多文化共生事業…対象経費の全額、上限10万円
国際交流・協力事業…対象経費の4分の3、上限10万円

お問い合わせ先

公益財団法人佐賀県国際交流協会
TEL：0952-25-7921

環境保全

締切：2022年7月29日（金）

公益信託大成建設自然・歴史環境基金
2022年度助成金

助成活動対象

原則助成振込日（2022年11月頃）～1年間に日本国内、開発途上国において実施される自然・歴史環境の保全活用にかかわる活動や研究

助成内容

助成総額：1,500万円／助成件数：30件程度

お問い合わせ先

公益信託大成建設自然・歴史環境基金 事務局
TEL：03-6631-7640

子ども

締切：2022年8月31日（水）

SBI子ども希望財団 2022年度
施設充実事業に関する助成金

助成活動対象

2022年5月1日～2023年4月30日に、「児童養護施設」の本体施設とは別に「地域小規模児童養護施設」、「分園型の小規模グループケア」を開設予定で、そこに必要な備品等

助成内容

1件あたり上限200万円

お問い合わせ先

公益財団法人SBI子ども希望財団
TEL：03-6229-1003

まちづくり

締切：2022年8月31日（水）

2022年度
第18回住まいのまちなみコンクール

助成活動対象

良好な景観が形成されている一体的な住宅において、住まいのまちなみの維持管理活動を行っている団体で、各種の社会課題に対応した先進的なまちなみづくり活動を行っている団体

助成内容

1団体あたり1年間上限50万円（3年間支援）

お問い合わせ先

一般財団法人住宅生産振興財団住まいのまちなみコンクール事務局
TEL：03-5733-6733